

シラバス

科目の基礎情報1				
授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ	
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2 60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター
科目の基礎情報2				
授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。			
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。			
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%			
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 			
関連資格	美容師国家資格			
関連科目				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	青柳 光子 他2名	実務経験	○	
実務内容	ヘアサロンにて美容師として20年勤務。海外での実務経験有。			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～3章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系、筋系の演習 (国家試験過去問題) と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第4章～6章)	神経系、感覚器、血液の演習 (国家試験過去問題) と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第7章～8章)	循環器系、呼吸器系、消化器系の演習 (国家試験過去問題) と解説
4	皮膚科学 (第1章)	皮膚の構造
5	皮膚科学 (第2章)	皮膚付属機関の構造 1項 毛
6	皮膚科学 (第2章～3章)	皮膚付属器官の構造 2項 脂腺 3項 汗腺 4項 爪 皮膚の循環器系と神経系
7	皮膚科学 (第4章)	皮膚と付属器官の生理機能
8	まとめ(第1章～第4章)	テストを実施する
9	解説	振り返り・解説

10	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項 皮膚炎・湿疹 3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾 6項 温熱・寒冷による皮膚障害 7項 角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項 ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍
14	総まとめ	テストを実施する
15	解説	振り返り・解説
16	皮膚科学の復習（第1～2章）	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（第2章～4章）	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	文化論		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト: 50% 小テスト: 30% 授業態度: 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	青柳 光子	実務経験		○	
実務内容	ヘアサロンにて美容師として20年勤務。海外での実務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治)	明治・髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治)	明治・・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第7.8節 近代(大正・昭和20年代)	大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代(1945~1950年代)	1945~1950年代の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代(1960~1970年代)	現代(1960~1970年代)の髪型・服装について
6	第3章ファッション文化史日本編 第11節 現代(1980~1990年代)	現代(1980~1990年代)の髪型・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第11節 現代(1980~1990年代)	現代(1980~1990年代)の髪型・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第12節 現代(2000~2010年代)	現代(2000~2010年代)の髪型・服装について

9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1				
授業形態	講義	科目名	運営管理	
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1 30
使用教材	運営管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター
科目の基礎情報2				
授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。			
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。			
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%			
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 			
関連資格	美容師国家資格			
関連科目				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	加藤 亜希	実務経験		○
実務内容	サロン実務履歴20年、サロン店長、フリーランス美容師を経て、現役美容師として活動中			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節 第3節	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する 経営とは何か、経営者の責任、経営の目的を理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第4節 第5節	経営戦略とは何かを理解する
3	第2章 理容業・美容業の経営について 第1節 第2節	業界の概要、理容業・美容業を取り巻く社会の変化を理解する
4	第2章 理容業・美容業の経営について 第3節 第4節 第5節	理容業・美容業における競争を理解する 競争の未来図、理容業・美容業の顧客を理解する
5	第3章 資金の管理 第1節 第2節 第3節 第4節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する 資産と負債、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
6	第3章 資金の管理 第5節 第6節	税金1税金の種類と支払うタイミングを理解する 税金2税金の申告 青色申告と白色申告を理解する

7	まとめ	小テスト
8	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する
9	第2章 従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険1国民年金を学ぶ 社会保険1厚生年金を学ぶ
10	第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険2健康保険を学ぶ P68～P71
11	第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険2国民健康保険・介護保険を学ぶ P71～P73
12	第2章従業員としての視点から 第4節	社会保険3雇用保険を学ぶ 社会保険3労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
13	第3章健康・安全な職場環境の実現 第1節 第2節	健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康 理容業・美容業に特徴的な健康課題、作業環境に関する健康問題を理解する。
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	解答&解説
16	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン 第2章 サービス・マーケティング	サービス・デザインの基本を学び、サービス・システム1を学ぶ サービス・システム2、新しいサービスをデザインする。 理容業・美容業のマーケティング、マーケティングリサーチ、サービスの改善を理解する。
17	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	コミュニケーションやコスト、情報活用について理解する。 接客についての理解を深める。接客の実践1-3を理解する。 接客におけるトラブル対応を理解する。
18	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	まとめ	小テスト
23	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	工藤 渉 他1名	実務経験	○		
実務内容	美容師歴26年 美容業経営者として19年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	<< 8章 エステティック >> 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマッサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマッサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマッサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マッサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	<< 9章 ネイル技術 >> 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマッサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順

5	<< 10章 メイクアップ >> 1. メイクアップ概論 2. 皮膚の生理と構造 3. フェイスプロポーション 4. 色彩について 5. パーソナルカラー	・メイクアップ概論・皮膚の生理と構造、表皮、真皮、皮下組織・フェイスプロポーション、顔の各部の名称 ・色彩について、色の三属性、色相、明度と彩度、色調・パーソナルカラー、spring, summer, Autumn, winter
6	6. 用具の種類と消毒方法 7. メイクアップ 8. ブライダルメイクアップ 9. 肌質別修正メイクアップ	・主な用具の種類、衛生について、手指の消毒、タオル類の消毒、用具の洗い方、ブラシ類、パウダーパフ、アイシャドーチップ、用具の消毒方法、消毒の手順、血液が付着していない場合、血液が付着している、あるいはその疑いのある場合 ・メイクアップ スキンケア、クレンジング、化粧水、乳液、スペシャルケア ・ベースメイクアップ 化粧下地、毛穴補正料、コントロールカラー、ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダー・ブラッシュオンメイクアップ、チーク、ハイライト、シャドー ・アイブローメイクアップ、眉の毛の流れ、眉の形の基本、代表的な眉の形 ・アイメイクアップ、アイカラー（アイシャドー）、アイライン、アイラッシュカール、マスカラ ・リップメイクアップ、代表的なリップライン ・ブライダルメイクアップ、男性のメイクアップ、スキンケア、カバーメイクアップ、眉、シャドー、リップケア・肌質別修正メイクアップ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項
7	10. まつ毛エクステンション	・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項
8	総まとめ	テストを実施する 8章～11章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
9	<< 11章 日本髪 >> 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 5. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
10	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 10. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
11	<< 12章 着付けの理論と技術 >> 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 9. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
12	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 14. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
13	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 19. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
14	まとめ	まとめを実施する 11章～13章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
15	解説	テストの振り返り・解説
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマネントウェービング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説

25	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	まとめ	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1				
授業形態	講義	科目名	関係法規・制度	
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1 30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社) 日本理容美容教育センター
科目の基礎情報2				
授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。			
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。			
評価基準	テストおよび小テスト：80% 授業態度：20%			
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 			
関連資格	美容師国家資格			
関連科目				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	野澤 馨 他1名	実務経験		○
実務内容	某大学にて10年間、民法の講師を行う。現在は都内で要配慮児童・生徒の学習支援、生活支援を行う。			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会生活における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ~ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節 第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する
8	解説	振り返り・解説

9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	衛生に関連する法律、業の振興に関連する法律
20	第4章 関連法規	雇用に関連する法律、消費者保護に関連する法律
21	まとめ	まとめを実施する
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する
27	解説	振り返り・解説
28	総復習 (1)	国家試験過去問演習等
29	総復習 (2)	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	衛生管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で衛生面についての理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	遠藤 翔太	他1名	実務経験	○	
実務内容	薬剤師として製薬メーカーにて衣料品の開発に携わった後、調剤薬局に10年以上勤務。店舗責任者を経て、現在はエリア統括責任者として活躍している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
2	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
3	感染症	感染症のまとめと問題演習
4	総まとめ	総まとめを行う
5	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
6	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論1	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
7	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論2	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
8	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論3	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
9	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方

10	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際
11	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領1	第1 目的～第4 衛生的取り扱い等
12	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領2	第5 消毒～第6自主的管理体制
13	まとめ	衛生管理技術、衛生管理の実際 まとめを実施する
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1				
授業形態	講義	科目名	化粧品化学	
必修選択	必修	(学則表記)	化粧品化学	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2 60
使用教材	化粧品化学		出版社	社) 日本理容美容教育センター
科目の基礎情報2				
授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得する。			
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。			
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	美容師国家資格			
関連科目	衛生管理、美容保健、美容技術理論			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	松野 佳代子	実務経験		○
実務内容	メーカーにて研究者として7年勤務。			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第1編 第1章：化粧品総論 第2章：化粧品 を使用する際に気を付けること	化粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応などから使用する際の注意その他
2	第3章：化粧品の成り立ち 「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章：化粧品の成り立ち 「油性原料」「界面活性剤」	油性原料（油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコン油など） 界面活性剤の種類と性質
4	第3章：化粧品の成り立ち 「高分子化合物」「色材」	高分子化合物（天然・半合成・合成） 色材（無機顔料・タール色素など）
5	まとめ総合および中間試験	1～4回までの総復習および中間試験
6	第3章：化粧品の成り立ち「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・収れん剤など）合成樹脂など
7	第2編 第1章：スキンケア製品1	クレンジング用化粧品・コンディショニング用化粧品（クリーム・乳液を含む）とエモリエント剤の復習
8	第2編 第1章：スキンケア製品2	トリートメント用化粧品・サンケア製品・美白用化粧品・ニキビ用化粧品・打粉類・パック剤
9	第2編 第2章：メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品

10	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルプケア製品1	ヘアクレンジング用化粧品、ヘアコンディショニング用化粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルプケア製品2	パーマ剤（パーマの原理、分類など）
12	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルプケア製品3	ヘアカラー製品・スカルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
15	前期総まとめ	前期総まとめ
16	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲などを補足する。
17	化学範囲補充	教科書化学範囲（関連事項）について補足授業
18	化粧品化学総合1	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
19	化粧品化学総合2	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
20	化粧品化学総合3	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
21	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
22	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
23	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
24	まとめ総合および期末試験	期末試験（全範囲）
25	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式・カット教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10% カット：総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ - C・美容実習Ⅱ - E				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	田村勇人 他16名	実務経験	○		
実務内容	個人サロン兼トータルビューティーサロンにて4年間美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）、計測25分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）復習、計測25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入（手順、スライス、ピニング）、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール導入
5	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール復習、強化

6	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール復習、強化、7段目クロッキノールカール導入
7	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール、7段目クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティングまとめを実施する 1段目～3段目、くり抜き、4段目右リフトカール、5段目左リフトカール計測26分 6段目メイポール、7段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール計測15分 7段構成 計測35～30分、美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティングまとめを実施する（全頭35分） 7段構成 計測35～30分 美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
13	オールウェーブセッティング	7段構成25分 美容師国家試験衛生
14	オールウェーブセッティング 総まとめ	7段構成25分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する

15	総合授業	総合的授業を実施する
----	------	------------

シラバス

科目の基礎情報1					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	
科目の基礎情報2					
授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ - A美容実習Ⅱ - C・美容実習Ⅱ - D・美容実習Ⅱ - E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	田村勇人 他16名	実務経験		○	
実務内容	個人サロン兼トータルビューティーサロンにて4年間美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全島計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウェーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【オールウェーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 各校フリー：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ - B・美容実習Ⅱ - E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生

8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【オールウェーブ】		
回数	単元	内容
1	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験課題 テスト	国家試験課題・美容師国家試験衛生 テストを実施する
6	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
8	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験課題 まとめ	国家試験課題・美容師国家試験衛生 テストを実施する
12	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式・カットニング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ - A・美容実習Ⅱ - B・美容実習Ⅱ - C・美容実習Ⅱ - D				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・和装スリップ(下着)・クリップ(2)・足袋		出版社	桜花出版 KWプロジェクト	

科目の基礎情報2

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	<p>着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。</p> <p>技術の習得目安として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きもの着付け3級（6月強制受験 免許強制） ・きもの着付け2級（12月強制受験 免許任意） <p>を取得することが出来る。</p>				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小野麻紀子	実務経験		○	
実務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種撮影(広告/イベント/映画)での各種着付け(振袖/袴/訪問着) ・各種ウェディング(ハウス/レストラン)での列席/花嫁着付け ・現役着付師、撮影スタイリストとして、主にスチール撮影着付け(振袖前撮り/婚礼前撮り)を得意として実績を積む 				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する

6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け3級検定（小紋の着付と蝶結び（20分））を実施する
11	座学1	着物の名称と用語（プリント12）を学ぶ 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する たたみ方テストを実施する
13	座学2	着物のTPO（プリント34）を学ぶ
14	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（お太鼓結び）と総まとめを行う
16	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方4	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
20	振袖の着せ方5	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
21	振袖の着せ方6	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
22	振袖の着せ方7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
23	振袖の着せ方8	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け2級検定試験（振袖にふくら雀30分）を実施する
26	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
27	留袖の着せ方2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
28	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	リクルートガイドブック		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	社会人としての自覚を持たせ、社会のマナーやルールを学び内定合格に繋げる				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 常に自信を振り返り、求められる人材になれるよう自己成長を行う				
評価基準	授業態度30%・提出物30%・テスト40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鈴木 良浩 他1名	実務経験	○		
実務内容	美容師歴6年半。3店舗で経験を積み、入社後1年半でスタイリストデビュー。 現在はメンズヘアを中心に、再現性の高いスタイル提案を得意とする。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動に関して	就職規定
2	自己PR、志望動機	自己PR、志望動機
3	面接対策	面接対策（受け応え）
4	面接対策	面接対策（プレゼンテーション）
5	自己探求	自己探求（ビジョン、強み）
6	サロンワーク	サロンワーク
7	面接対策	WEB面接の重要性を理解し、WEB面接を実践する
8	面接対策	グループ面接の重要性を理解し、グループ面接を実践する

9	選考対策	二次募集、中途採用の条件について
10	対策	対策授業
11	対策	対策授業
12	一般常識対策	一般的な漢字の読み書き・計算
13	一般常識対策	一般常識対策問題
14	テスト	テスト実施
15	総合授業	総まとめ
16	就職規定再確認	就職対策授業計画と評価について 就職スケジュール振り返りと再設定 内定者は入社までの過ごし方を考え目標設定する
17	社会人に求められるスキル1	求められる人物になるために
18	社会人に求められるスキル2	社会人と学生の違いを知る
19	会社、仕事とは	成果主義について、その他福利厚生について知る
20	人間関係構築力について	人間関係構築力について
21	働く目的	働く目的を考える
22	人生設計について具体的に考える	人生設計について具体的に考える
23	社会人に求められるスキル3	優先順位を考える
24	社会人基礎力について	ストレスコントロール力について
25	初期クレーム対応の仕方について	クレームが発生する時はどのようなケースが多いのかを学ぶ。・クレームの原因について学ぶ
26	接客対応方法	・お客様とのアイスブレイク練習 ・電話対応の仕方
27	冬休みの過ごし方	有意義な長期休みを過ごすための落とし込み
28	テスト	成績評価テスト
29	総まとめ	社会人なる皆さんへ最後のメッセージ
30	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1					
授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	
科目の基礎情報2					
授業のねらい	美容師業界における基本的理論技術の習得と グローバルスタンダードに準拠したサービス提供の一連の流れの理解				
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる				
評価基準	【C&G】 検定合格30% 総まとめ20% まとめ10% 提出物30% 授業態度10% 【メイク】 総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	菅野直人	実務経験		○	
実務内容	City & Guilds Examiner Certificate (国際美容技能試験官) / Seyfer Learning Academy 講師 サロン勤務歴18年、中国北京にて外国人に向けた講師活動の実施				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【C&G】		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業ルール、授業スケジュール、C&Gについて
2	カット	ウィッグを使用してのカット練習
3	カット	ウィッグを使用してのカット練習
4	カット	ウィッグを使用してのカット練習
5	カット	相モデルでカット練習
6	カラー	ウィッグを使用してのカラー練習
7	カラー	ウィッグを使用してのカラー練習
8	カラー	ウィッグを使用してのカラー練習

9	カラー	相モデルでカラー練習
10	アップ	ウィッグを使用してのアップ練習
11	模擬試験	アップの模擬試験実施
12	模擬試験	カット、カラーの模擬試験実施
13	試験対策	本試験に向けての対策授業
14	本試験	C&G実技試験
15	本試験	C&G実技試験
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト） スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌（VOGUE/MODE ET MODE 等）		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	<p>【特殊・アーティスト・モデルメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする</p> <p>【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。</p>				
到達目標	<p>【特殊・アーティスト・モデルメイク】</p> <p>トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける</p> <p>様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける</p> <p>メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる</p> <p>【ベーシックメイク】</p> <p>メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。</p>				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・【特殊・アーティスト・モデルメイク】（テスト30%、提出物10% 授業意欲10%） ・【ベーシックメイク】（テスト30%、提出物10% 授業意欲10%） 				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ - B				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・（ベーシックメイク） + （特殊・アーティスト・モデルメイク） 				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【特殊・アーティスト・モデルメイク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベースメイク1	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク2 ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク1	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク2	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ

5	年代別のメイク3	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
6	年代別のメイク4	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
7	年代別のメイク5	テスト、振り返り
8	トレンドメイク1	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う
9	トレンドメイク2	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
10	スチールメイク1	フォトコンで行うメイク制作(実践) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク2	フォトコンで行うメイク制作(テスト) テーマに合わせて行う
12	スチールメイク3	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
13	作品制作1	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	作品制作2	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
15	総合授業	まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ブライダルエステ】教科書・クリエーナ化粧品セット・タオル類・消耗品類 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	【ブライダルエステ】日本エステティック協会、日本理容美容教育センター 【ベーシックメイク】ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	【ブライダルエステ】身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ブライダルエステ】ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・【ブライダルエステ】(実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%)授業態度・提出物10%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン				
関連科目	美容実践Ⅰ - C				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク) + (ブライダルエステ)				
担当教員	梅木 紀子他1名	実務経験			
実務内容	大手サロン勤務を経て、店長職、トレーナー、個人サロンの立ち上げから起業しサロン経営を経験。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ブライダルエステ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1コマ：授業準備・ルールについて、ベッドセッティング
2	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ：基本動作・ベッド誘導
3	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習

4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ (塗布から) 手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価1	ご案内-消毒-下肢後面マッサージ-ふき取り-誘導 ×2クール～4クール人数に応じて ※相モデル
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー (相モデル)	1コマ:1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1コマ:事前準備・基本動作・ベッド誘導 1コマ:基本手技・HOTタオルの流れシュミレーション
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内-デコルテ1～7(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内-フェイシャル1～11(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内-全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り-整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内-フェイシャルクレンジング(技術編Iプリント)-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価2	ご案内-フェイシャルクレンジング-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
14	マッサージ総合・マスク	1コマ:デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
15	総合授業	総まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り

15	総合授業	まとめを行う
----	------	--------

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	美容実践 II-D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践 II-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	JNAジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	JNAジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、サロンワークに対応できる技術を身に付ける				
評価基準	ジェルネイル検定初級結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級/JNAジェルネイル検定初級				
関連科目	美容実践 II-D (ネイル検定対策)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ネイル検定対策と同時進行となる為、内容の入替や前後するなど連動させて進めていく				
担当教員	篠原 千裕 他1名	実務経験	○		
実務内容	フリーネイリストとして、出張サービスをしながら、美容室内でネイルサロンを経営。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック 1年次復習
2	1年次復習	1年次復習
3	1年次復習	1年次復習
4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
8	ジェルスカンプ 実技	ジェルスカンプチュアを学ぶ
9	ジェルスカンプ 実技	ジェルスカンプチュアを練習する

10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する。 ジェルの筆記試験
11	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
12	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ネイル検定対策】JNAテクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキスト ベーシック (デジタルテキスト)		出版社	【ネイル検定対策】NPO法人日本ネイリスト協会 【ベーシックメイク】ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	【ネイル検定対策】基礎的なマニキュア技術を実践でき、JNEC3級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ネイル検定対策】ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・【ネイル検定対策】(検定結果15%・授業態度他5%・筆記テスト15%・実技テスト15%) ・メイク(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト技能検定3級(任意)・JNAジェルネイル検定初級(任意) 2年4月 2年7~12月 メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ - E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク) + (ネイル検定対策)				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ネイル検定対策】

回数	単元	内容
1	プレパレーションデモ リペア(シルクラップ)デモ・実技	ラップ素材を使用して 爪の修正を学ぶ
2	2級検定説明(2級検定DVD) 2級検定実技	2級検定について説明し 受験希望者を確認
3	チップオン・チップラップデモ 相モデル	チップによる付け爪の習得
4	チップオン・チップラップ相モデル	
5	チップオン・チップラップ相モデル	

6	トリートメントデモ 相モデル・ケア・トリートメント	サロンワークに必要なトリートメント
7	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
8	エンボスアート	
9	ミックスメディアアート	3Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
10	ミックスメディアアート	
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
12	実技試験 (2級と同じ内容)	実技試験 J NEC2級検定受験内容に準じる
13	実技試験 (2級と同じ内容)	実技試験 J NEC2級検定受験内容に準じる
14	筆記試験 実技練習	筆記試験 J NEC2級検定受験内容に準じる 実技試験の振り返り
15	総合授業	総まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - F		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	HAIR COLOR ACADEMYのwebコンテンツ、ウィッグ、ヘアカラー教材一式		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ヘアカラーリスト→応用的なカラーの考え方が理解・実践できる。 ベーシックメイク→スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	ヘアカラーリスト→コントラストハイライト、バレイヤージュ、シャドールーツのプロセスが明確で、適切に施術できる。狙った色味を表現できる。 ベーシックメイク→メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。 この科目は「ヘアカラーリング」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	原雄也	実務経験		○	
実務内容	サロン勤務歴17年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ヘアカラーリング】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明 教材確認(教材の名称・扱い方・管理方法)、前期の振り返りを行う
2	実技テスト	ブリーチ+オンカラー+薬剤選定についてテストを行う
3	コントラストハイライトとは1	HAIR COLOR ACADEMY コントラストハイライトについて
4	コントラストハイライトとは2	コントラストハイライト 練習とチェックを行う
5	コントラストハイライトとは3	コントラストハイライト 練習とチェックを行う
6	バレイヤージュとは1	バレイヤージュの練習を行う
7	バレイヤージュとは2	バレイヤージュ練習とチェックを行う

8	バレイヤージュとは3	バレイヤージュ練習とチェックを行う
9	シャドールーツとは1	HAIR COLOR ACADEMシャドールーツ（弱）の練習
10	シャドールーツとは2	シャドールーツ練習とチェックを行う
11	シャドールーツとは3	シャドールーツ練習とチェックを行う
12	自由制作	画像を参考に1つのスタイルを作る1
13	自由制作	画像を参考に1つのスタイルを作る2
14	発表会	施術工程、薬剤選定の理由も理論的に発表を行う
15	総合授業	前期振り返りを行う

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	VR・美容道具一式・美容技術理論 I		出版社	日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	協調性の意識を高め、アシスタントとしての心得・基礎技術を習得する。				
到達目標	サロンワーク知識の理解と実践				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅱ-A・B・C・D・E・F 美容実践Ⅱ-A				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	廣瀬翔大 他5名	実務経験	○		
実務内容	サロン勤務歴13年、美容師講師歴7年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業ルール、導入、ワンレングスカット
2	カラー	ブリーチ、デザインカラー
3	カット	グラデーションカット、プロー
4	カット	レイヤーカット、コテ巻き
5	カット	メンズカット、ウルフカット
6	カット	メンズカット
7	カット	メンズカット
8	まとめ	まとめテストの実施
9	カット	スタイルカット

10	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
11	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
12	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
13	パーマ、カット	パーマ理論、ベースカット
14	パーマ	パーマ実践、スタイリング
15	総合授業	前期授業の振り返り、後期に向けて
16	VRストレート	VRコンテンツのストレートを導入（COA・寺村優太）
17	VRストレート	VRコンテンツのストレートを導入（COA・寺村優太）
18	モデル撮影	テーマイメージ作成
19	撮影1	スプリング、サマーの撮影
20	撮影2	オータム、ウィンターの撮影
21	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
22	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
23	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
24	サロン考案	新しいサロンを考える
25	発表、共有	グループごとに新しいサロン発表
26	卒業制作	卒業制作準備1
27	卒業制作	卒業制作準備2
28	卒業制作	卒業制作準備3
29	総まとめ	総まとめの実施
30	総合授業	後期振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロンワークB		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	まつ毛エクステンション教材 美容技術理論1、2		出版社	日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	積極的に先を見越した行動を起こすことができる				
到達目標	協力して美容業務全般に通じる力をつける				
評価基準	中間テスト20%・期末テスト20%・検定10%・授業態度20%・提出物10%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容技術理論II				
備考	原則、この授業は対面式にて実施する				
担当教員	神戸 瑞穂	実務経験		○	
実務内容	横浜市内でサロン現場経験を積み、現在開業して自身のサロンで施術を行う				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介・プロアクティブについて・ルール・流れ・用具配布・ワゴンセッティング
2	まつ毛エクステンション概要 用具・材料	座学/教科書、プリント 実技/道具ラベル貼り・ワゴンセッティング・かき分け
3	まつ毛エクステンション概要 用剤	座学/教科書、プリント 実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着
4	衛生管理	座学/教科書、プリント 実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着
5	衛生管理	座学/教科書、プリント 実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着
6	保健 皮膚の構造・アレルギー	座学/教科書、プリント 実技/シートタイプ装着
7	中間テスト 保健 眼の構造	習った範囲までの筆記、実技テスト 座学/教科書、プリント 実技/テーピング
8	保健 眼の病気	座学/教科書、プリント 実技/テーピング

9	まつ毛の構造	座学/教科書、プリント 実技/装着、リムービング練習
10	カウンセリング	座学/教科書、プリント 実技/装着、リムービング練習
11	期末テスト	座学/全範囲 実技/ワゴンセッティング・装着50本
12	デザイン カラー	ナチュラル・キュート・グラマラス・セクシーなど 長さとかールを選んでデザインする
13	デザイン カラー	ナチュラル・キュート・グラマラス・セクシーなど 長さとかールを選んでデザインする
14	デザイン カラーテスト	カラーエクステを使用してデザインする
15	長さデザイン	様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
16	長さデザイン	様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
17	長さデザイン	様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
18	長さデザイン	様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
19	アイラッシュ検定対策	検定対策模試
20	アイラッシュ検定対策	検定対策模試
21	中間テスト	全範囲
22	アイラッシュ検定対策	検定対策模試
23	アイラッシュ検定対策	検定対策模試
24	アイラッシュ検定対策	検定対策模試
25	検定振り返り デザイン見本作成	カウンセリングに使用するデザイン見本を作成
26	カウンセリングによる 課題解決授業	クレームや考えうるトラブルを想定し、ディスカッションする 出てきた課題に対して対応策を協議、共有する
27	カウンセリングシート作成	予約時、施術前、施術後、ホームケアに関するカウンセリングシート等を作成する
28	カウンセリング動画学習	これまでの学習を通して、実際のサロンと同じようにカウンセリングをする様子を互いに撮影し、フィードバックする
29	期末テスト	レポート提出
30	国試技術理論対策	国家試験の技術理論の復習

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ヘアアレンジ教材一式		出版社	株式会社ユアサポート (メイク)	

科目の基礎情報2

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解しさまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を目指す。 1年次に学んだ基礎技術を応用しブライダルヘアメイクに必要な技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ヘアアレンジ：ブライダルの基礎知識、用語、特性を理解する 逆毛・ピニング・アップスタイル技術を習得しブライダルシーンに合わせたトータルコーディネートを出来るようにする ネイル：サロンワークの接客態度や言葉遣い、身だしなみを理解する ジェルネイルの基本を学び、技術力を高め様々なブライダルシーンに対応できるデザイン力を身につける 				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ヘアアレンジ：テスト30% ・提出物15% ・授業態度5% ネイル：テスト30% ・提出物15% ・授業態度5% 				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	美容実践Ⅱ-C				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	ヘアアレンジ：須賀 千尋 ネイル：篠原 千裕	実務経験		○	
実務内容	ヘアアレンジ：撮影、LIVE、ブライダル等のヘアメイク歴22年アイリスト&アイブロウリストサロン運営6年 ネイル：フリーネイリストとして、出張サービスをしながら、美容室内でネイルサロンを経営。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ヘアアレンジ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 洋装基礎知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材検品 ブライダルヘアメイクについて 洋装基礎知識座学ヘアメイクと会場・衣装・小物の合わせた方 コラージュ
2	花嫁スタイル1	ホットカーラー早巻き10分→ハーフアップ導入
3	花嫁スタイル1	ホットカーラー早巻き10分→ハーフアップ完成 ルーズアップスタイル導入
4	花嫁スタイル2	ルーズアップスタイル完成(ティアラ付き)
5	花嫁スタイルテスト前練習	ルーズアップスタイル(ティアラ付き)
6	インビッシュWEEK	ビューティーショー準備

7	花嫁スタイル実技テスト1	ルーズアップスタイル(ティアラ込)テスト40分
8	列席ヘアスタイル1	列席 留袖対応きれいめシニヨン
9	列席ヘアスタイル2	列席 留袖対応ルーズシニヨン
10	列席ヘアスタイルテスト前練習	テスト前練習 (列席1or2)
11	列席スタイル実技テスト2	留袖アップスタイル1or240分
12	インビッシュWEEK	ビューティーショー準備
13	列席座学 ヘッドパーツの種類とつけ方	列席座学→生花の取り扱い方→次回相モデルプラン作成
14	相モデル1	テーマ列席ヘア&メイク45分時間厳守
15	相モデル2	テーマ列席ヘア&メイク45分時間厳守
16	サロンワーク導入	<p>様々なシュチュエーションや 施術内容を設定し、サロンワーク としての技術・接客を シュミレーションとして行う</p> <p>施術時間・用具の管理・接客対応 ・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など 様々な視点からチェックしていく</p>
17	1年次復習	
18	サロンワーク技術練習	
19	サロンワーク技術練習	
20	サロンワーク技術練習	
21	サロンワーク技術練習・テスト	
22	サロンワーク技術練習	
23	サロンワーク技術練習	
24	サロンワーク技術練習	
25	サロンワーク技術練習	
26	サロンワーク技術練習	
27	サロンワーク技術練習・テスト	
28	サロンワーク技術練習	
29	サロンワーク技術練習	
30	振り返り・総合授業	
各回の展開【ネイル】		
回数	単元	内容
1	導入、教材チェック	自己紹介、導入(評価基準、授業ルール、今後の授業について) 教材チェック、セッティング
2	道具説明 基本カットスタイル	各種道具の使い方を説明する ファイル類面取り、ウッドスティック削り チップで基本のカットスタイルを学ぶ

3	筆、ジェルの取り扱いについて 基本アート練習1	筆の扱い方、塗り方を説明し実践 ジェルの取り扱い方、適量なども説明する ワンカラー、ラメグラデーション
4	相モデル(復習) ストーンプッシャーの使い方	ストーンプッシャーの使い方を学ぶ 相モデルで前回の復習(チップと人の手にする場合の差をしっかりと理解する) ワンカラー、ラメグラデーション
5	基本アート練習2	基本的なデザインを学ぶ フレンチなど
6	相モデル(復習)、アセトンオフ	相モデルで前回の復習 アセトンオフの仕方を学び実践
7	トレンドアート1	トレンドアートの練習をする
8	トレンドアート2	トレンドアートの練習をする
9	相モデル、基本アート練習3	テストに向けて相モデル練習を行う カラーグラデーションなど
10	相モデル、実技テスト	テーマに合わせて実技テストを行う
11	トレンドアート3	ブライダルネイル(洋装)に合うトレンドアートを学び練習する
12	チップ制作1(洋装)	ブライダルネイル(洋装)に合うデザインを考えチップ制作を行う どんなデザインが流行っているのか(ドレスも含め)考える
13	トレンドアート4	ブライダルネイル(和装)に合うトレンドアートを学び練習する
14	チップ制作2(和装)	ブライダルネイル(和装)に合うデザインを考えチップ制作を行う
15	総まとめ	前期総まとめを行う
16	導入 サロンワークについて	自己紹介、導入(評価基準、授業ルール、今後の授業について) ネイルのサロンワークについて学ぶ
17	トレンドアート1	トレンドアートの練習をする
18	トレンドアート2	トレンドアートの練習をする
19	相モデル	テーマに合わせて相モデルを行う
20	エンボスアート	ジェルを使ったエンボスアートを学び実践
21	3Dアート	ジェルを使った3Dアートを学び実践
22	チップ制作	エンボスアート、3Dアートを含めブライダルネイルに合うチップ制作を行う
23	相モデル	テーマに合わせて相モデルを行う
24	相モデル 実技テスト(前半)	前半後半に別れ、相モデルで実技テストを行う ブライダルネイルに合うデザインを考える
25	相モデル 実技テスト(後半)	前半後半に別れ、相モデルで実技テストを行う ブライダルネイルに合うデザインを考える
26	トレンドアート3	トレンドアートの練習をする
27	卒業制作1	卒業制作について説明する 今までに習得した技術を活かしチップ制作をする
28	卒業制作2	卒業制作を行う

29	卒業制作3	卒業制作を行う
30	総まとめ	後期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロンワークD		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークD		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ネイル：JNAテクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 まつエク：まつ毛エクステンション教材、美容技術理論1、2		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ネイル：お客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する まつエク：積極的に先を見越した行動を起こすことができる				
到達目標	ネイル：サロンで通用する技術を学び、それを実践することが出来るように練習する。接客やトラブルシューティングまで出来るようにする。 まつエク：協力して美容業務全般に通じる力をつける				
評価基準	ネイル：実技試験15%・小テスト10%・提出物、授業態度10%・筆記テスト15% まつエク：中間テスト10%・期末テスト10%・検定15%・授業態度10%・提出物5%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ネイル：JNECネイリスト検定3級/JNAジェルネイル検定初級 まつエク：美容師免許				
関連科目	ネイル：美容実践II-D まつエク：美容技術理論II				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	ネイル：知名 澄子 他1名 まつエク：神戸 瑞穂	実務経験	○		
実務内容	ネイル：ネイルサロン勤務後、フリーネイリストとして出張ネイルと自宅サロンを兼務。 まつエク：横浜市内でサロン現場経験を積み、現在開業して自身のサロンで施術を行う				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ネイル：3級筆記対策 まつエク：オリエンテーション	ネイル：3級筆記ABCDEの5パターンで合格点を目指す。 まつエク：自己紹介・プロアクティブについて・ルール・流れ・用具配布・ワゴンセッティング
2	ネイル：ペイントアート【チップ】 まつエク：まつ毛エクステンション概要、用具・材料	ネイル：チェック、レース、モロッコ、トトロ デモ (20分) まつエク：座学/教科書、プリント、実技/道具ラベル貼り・ワゴンセッティング・かき分け
3	ネイル：ジェルアート【自分の爪】 まつエク：まつ毛エクステンション概要 用剤	ネイル：デモ (10分) 「シースルー」5本「ツイード」5本 トレーニングコートを使用して自分の爪にジェルアート まつエク：座学/教科書、プリント、実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着
4	ネイル：エンボスアート まつエク：衛生管理	ネイル：ミクスチュアの作り方と練習。(10分) エンボス (花・ハート) デモ (各10分) →1枚ずつチップに作成 (各30分) まつエク：座学/教科書、プリント、実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着
5	ネイル：エンボスアート【作品提出】 まつエク：衛生管理	ネイル：エンボス (カメラア) デモ (10分) →チップ作成 (40分) エンボス (くま) デモ (10分) →チップ作成 (40分) まつエク：座学/教科書、プリント、実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着

6	ネイル：ジェルアート【相モデル】 まつエク：保健、皮膚の構造・アレルギー	ネイル：デモ（20分） ジェルアート（40分）×2 「カエルと虹」 まつエク：座学/教科書、プリント、実技/シートタイプ装着
7	ネイル：ジェル+アート【相モデル】 まつエク：中間テスト、保健、眼の構造	ネイル：カラー5本（好きなカラー）+ジェルアート(キャラクター)1本（40分）×2 チェック（10分）×2 まつエク：習った範囲までの筆記、実技テスト・座学/教科書、プリント・実技/テーピング
8	ネイル：ジェル+アート【相モデル】 まつエク：保健、眼の病気	ネイル：カラー5本（好きなカラー）+ジェルアート(キャラクター)1本（40分）×2 チェック（10分）×2 まつエク：座学/教科書、プリント・実技/テーピング
9	ネイル：行事準備 まつエク：まつ毛の構造	ネイル：行事準備 まつエク：座学/教科書、プリント・実技/装着、リムービング練習
10	ネイル：行事準備 まつエク：カウンセリング	ネイル：行事準備 まつエク：座学/教科書、プリント・実技/装着、リムービング練習
11	ネイル：トリートメント まつエク：期末テスト	ネイル：トリートメントデモ（10分）トリートメント 相モデル（30分→15分×2） 小テスト（筆記）トリートメント手順 まつエク：座学/全範囲・実技/ワゴンセッティング・装着50本
12	ネイル：ジェルアート【相モデル】 まつエク：デザイン、カラー	ネイル：デモ（20分）ジェルアート（40分）×2 1カラー5本+「リボン」 まつエク：ナチュラル・キュート・グラマラス・セクシーなど長さとかールを選んでデザインする
13	ネイル：ジェルアート【チップ】 まつエク：デザイン、カラー	ネイル：ジェルアート テーマ「ゲーム」5本（90分） まつエク：ナチュラル・キュート・グラマラス・セクシーなど長さとかールを選んでデザインする
14	ネイル：ネイルアート【自分の爪】 まつエク：デザイン、カラーテスト	ネイル：ペイントアート「好きなアニメキャラ」→自分の爪5本に作成（70分）→写真提出（classroom）（10分） まつエク：カラーエクステを使用してデザインする
15	ネイル：ジェルアート【相モデル】 まつエク：長さデザイン	ネイル：ジェルアート（50分）×2 「好きなもの」 まつエク：様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
16	ネイル：2級 実技練習 まつエク：長さデザイン	ネイル：2級実技練習を行う まつエク：様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
17	ネイル：2級 実技練習 まつエク：長さデザイン	ネイル：2級実技練習を行う まつエク：様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
18	ネイル：2級 実技練習 まつエク：長さデザイン	ネイル：2級実技練習を行う まつエク：様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
19	ネイル：ジェルアート まつエク：アイラッシュ検定対策	ネイル：サロンワークで通用するようなアートを学び、練習する。 まつエク：検定対策模試
20	ネイル：ジェルアート まつエク：アイラッシュ検定対策	サロンワークで通用するようなアートを学び、練習する。 まつエク：検定対策模試
21	ネイル：マシーン ケア まつエク：中間テスト	ネイル：マシーンを使用してケアを練習する まつエク：全範囲
22	ネイル：マシーン ケア まつエク：アイラッシュ検定対策	ネイル：マシーンを使用してケアを練習する まつエク：検定対策模試
23	ネイル：マシーン オフ まつエク：アイラッシュ検定対策	ネイル：マシーンでのオフを学ぶ まつエク：検定対策模試
24	ネイル：マシーン オフ、実技試験・筆記試験 まつエク：アイラッシュ検定対策	ネイル：マシーンオフの実技試験と筆記試験を行う まつエク：検定対策模試
25	ネイル：座学 B58ケア 相モデル まつエク：検定振り返り、デザイン見本作成	ネイル：国試のネイル部分の内容とJNAとの違いを学ぶ。 まつエク：カウンセリングに使用するデザイン見本作成
26	ネイル：筆記試験、カラーリング まつエク：カウンセリングによる、課題解決授業	ネイル：前週の内容の筆記試験を行う。 まつエク：クレームや考えうるトラブルを想定し、ディスカッションする・出てきた課題に対して対応策を協議、共有する
27	ネイル：ジェル まつエク：カウンセリングシート作成	ネイル：ジェルネイル技術を行う まつエク：予約時、施術前、施術後、ホームケアに関するカウンセリングシート等を作成する
28	ネイル：ジェル 作品制作 まつエク：カウンセリング動画学習	ネイル：作品制作を行う まつエク：これまでの学習を通して、実際のサロンと同じようにカウンセリングをする様子を互いに撮影し、フィードバックする

29	ネイル：ジェル 作品制作 まつエク：期末テスト	ネイル：作品制作を行う まつエク：レポート提出
30	ネイル：総まとめ まつエク：国試技術理論対策	ネイル：総まとめを行う まつエク：国家試験の技術理論の復習

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロンワークE		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークE		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	A B E text book Assisutant director		出版社	日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	まつ毛エクステンションの取り扱いや正しい知識技能による装着				
到達目標	まつ毛エクステンション技術者認定試験合格を目指す				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 提出物20% 授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容実習				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：1. ボディエステティックの目的と効果
2	1年次復習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディエステティックとは	1コマ：授業準備・ルールについて（各校） 1コマ：ベッドセッティング
3	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい
4	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	接客マナー（相モデル）	1コマ：基本動作・ベッド誘導 ボディトリートメント/手の使用部位
5	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える

5	前操作（相モデル）成績評価1	ボディトリートメント流れ 前操作デモ・練習
6	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
7	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
8	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
9	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 4	ご案内-消毒-下肢後面マッサージ-ふき取り-誘導
10	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディ実技試験 成績評価2	ご案内-消毒-下肢後面マッサージ-ふき取り-誘導 成績評価2
11	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ
12	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：基本手技・HOTタオルの流れシュミレーション 1コマ：練習
13	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内-デコルテ1～7(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
14	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内-フェイシャル1～11(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
15	総合授業	総まとめを行う
16	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 3	フェイシャルマッサージ通し練習
17	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 4	フェイシャルマッサージ通し練習
18	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルクレンジング 1	クレンジング導入・デモ ご案内-全体クレンジング(ポイントなし)～ふき取り-整肌
19	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルクレンジング 2	クレンジング導入・デモ ご案内-全体クレンジング(ポイントなし)～ふき取り-整肌

20	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	ご案内-全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り-整肌
21	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	通し練習 ご案内-フェイシャルクレンジング(技術編Iプリント) -マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
22	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	通し練習 ご案内-フェイシャルクレンジング(技術編Iプリント)-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
23	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル実技試験 成績評価1	ご案内-フェイシャルクレンジング-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導 成績評価1
24	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマスク 1	1コマ:デモマスク塗布・ふき取り 1コマ:通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マスク-ふき取り-整肌-誘導
25	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマスク 2	通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マスク-ふき取り-整肌-誘導
26	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
27	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
28	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
29	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル実技試験 成績評価2	通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロンワークF		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークF		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	美容道具一式・美容技術理論Ⅰ		出版社	日本理美容教育センター	

科目の基礎情報2

授業のねらい	協調性の意識を高め、アシスタントとしての心得・基礎技術を習得する。				
到達目標	サロンワーク知識の理解と実践				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅱ-A・B・C・D・E・F 美容実践Ⅱ-A				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	森山雄斗	実務経験	○		
実務内容	サロン勤務歴10年、髪カリスマ受賞、雑誌ヘアメイク多数担当、フォトコン受賞				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【各校フリー】

回数	単元	内容
1	イントロダクション	自己紹介、授業の目的、ルール、フリーデザインウィッグ制作スケジュール、デザイン考案
2	カット	ベーシックカット、理論
3	カット	ベーシックカット、理論
4	スタイリング	コテ、アイロン、パーマロッドを使用したスタイリング
5	スタイリング	コテ、アイロン、パーマロッドを使用したスタイリング
6	ウィッグ仕込み1	テストに向けての仕込み1
7	ウィッグ仕込み2	テストに向けての仕込み2
8	ウィッグ仕込み3	テストに向けての仕込み3
9	まとめ	ウィッグ制作テスト

10	シャンプー	シャンプー & スパ技術
11	シャンプー	シャンプー & スパ技術
12	サロンマナー	接客について
13	サロンマナー	アシスタントの仕事
14	総まとめ	サロンマナーについてのテスト
15	総合授業	前期授業の振り返り、後期に向けて
16	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
17	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
18	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
19	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
20	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
21	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
22	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
23	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
24	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
25	卒業制作	卒業制作準備1
26	卒業制作	卒業制作準備2
27	卒業制作	卒業制作準備3
28	卒業制作	卒業制作準備4
29	総まとめ	卒業制作完成 期末試験
30	総合授業	後期振り返り